

患者さんへ

「骨欠損を合併する脛骨重症開放骨折の治療成績

－ Masquelet technique*は主役か否か？ －

* : Masquelet technique : 骨欠損治療のための技術の一つで、まずは骨欠損部に骨セメントを充填しておくことで、その周囲に骨癒合を促進するための成長因子などを豊富に含む膜が形成されます。骨セメント充填後 2-3 か月で骨移植を行うことにより、骨癒合が得られやすくなるという技術です。

この研究は、通常の診療で得られた記録や写真を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2013年8月から2021年9月までの期間で、重症脛骨開放骨折に対して軟部組織再建治療および骨欠損治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

当センターでは、新鮮脛骨重症開放骨折に合併した骨欠損治療において、複数ある骨欠損治療方法の中から、骨欠損サイズと軟部組織欠損サイズの兼ね合いにより、症例ごとに最適と考えられる治療法を選択して施行しています。本研究の目的は、新鮮脛骨重症開放骨折に合併した骨欠損治療の成績を明らかにすることです。

研究期間は院長承認から2022年12月までとします。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、喫煙の有無、受傷機序、骨折分類、受傷部位の写真、転院搬送の有無と受傷から転院までの日数 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院

・外傷センター 林洸太（研究責任者）

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

電話番号：0467-46-1717

（西暦 2022 年 2 月 27 日 作成（第 1 版））